



令和4年度学校便り

あらたに 5月号



文責 長友 裕之

<自分を知り進んで学ぶ子ども>
<感謝の気持ちを持ち思いやりのある子ども>
<健康でたくましい子ども>
<地域・ふるさとを大事にする子ども>

4月のPTA総会でお話しをしたかった事です。

本年度は4月の参観授業・懇談を実施し、PTA 総会・懇親会をやむなく中止しました。なかなかコロナ禍の収束が見えない状況です。

さて、その参観日では、本年度の学校経営について私（校長）からお話する時間がありました。保護者の皆様には、プリントを配付して説明をしました。

地域の皆様にもご承知・ご理解をいただきたく、この紙面をかりて説明します。

ご承知のとおり、本村には「15の春」という言葉あります。

この「15の春」を中学校だけにおまかせするのは、大変申し訳ないです。ですから、小学校でもできることはないか、そして、少しでもより立派な「15の春」になってもらうことを考えました。

その答えが、「自立」です。

「自立」とは、簡単に言えば、「他人のせいにしない」ができることです。

学校では、この「自立」を促すために、先生方をお願いしたのが3つの言葉かけです。

「どうしたの？」 「どうしたいの？」 「こういうことだったら手伝えるけど」 の3つです。

この3つの言葉については、保護者の皆様にもお願いしました。さらに、保護者の皆様には、禁句として「なんで？」は言わないようお願いしました。（これは、以前お話したもので、「なんで？」と聞くと、子どもは、言い訳を考えるようになります。）

さらに、学習の面では以下の目標をたてました。

1・2年生・・・友だちの話を最後までしっかり聞ける。

3～6年生・・・2人または4人のグループで分からないことが聞き合える

そして、3～6年生では、分からないことを聞かれた児童は、相手にヒントをだしながら説明できる（支援できる）児童になっていくように、としました。

なぜ、学習において聞き合えることが大事なのかと言いますと、他人に依存するということは、自立できるようになるからです。

自立は、一朝一夕に身につくものではありません、ゆっくり、じっくりこの小学校生活で身につけさせます。ご家庭・地域でもご協力をお願いします。おじいちゃん、おばあちゃんも3つの言葉かけをよろしくお願いします。



諸塚小でのM2学習を参観日に変更しました。

昨年度、保護者の皆様からの要望があり、諸塚小学校での我が子の様子（学習・休み時間等）を見学したいとのことでした。昨年度は、コロナの影響があり実施できませんでした。

今回、初めての取り組みとなります。改善点等がありましたら連絡をお願いします。

奉仕作業（5月25日）よろしくお願いします。

PTA 総会がなく、年間のPTA 行事がなかなか見えないところではありますが、本年度1回目の奉仕作業となります。中尾、恵奈幾、内の口のPTA 会員の皆様、よろしくお願いします。

現在の本村の状況を考えれば、実施する方向でいます。

職員・在児家庭の保護者は、プール掃除をする関係で、地域の皆様が作業されている範囲で、職員や保護者が見当たらないかもしれません。お知りおきください。

5月の行事予定

- 13日（金） 第1回M2学習
- 18日（水） 避難訓練<風水害>
- 24日（火） 眼科検診
- 25日（水） PTA奉仕作業
中尾・恵奈幾・内の口

雑感

昨年度、学校の敷地まわりの樹木については、思いっきり剪定していただきました。冬場は、それをみるにつけずいぶんとさっぱりしたなと思っていました。それが今では、木の幹を覆うくらい新芽が芽吹いています。生命力を感じます。「山笑う」から「山滴る」になってきているのかな？と感じる今日この頃です。